

フェライト鋼における降伏点の発現機構に関する研究

荒木, 理

<https://hdl.handle.net/2324/2236179>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	荒木 理 (あらき さとし)				
論 文 名	フェライト鋼における降伏点の発現機構に関する研究				
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	氏名	土山 聡宏
	副 査	九州大学	教授	氏名	大村 孝仁
	副 査	九州大学	教授	氏名	田中 將己

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、フェライト鋼における降伏現象について、上降伏点と下降伏点の物理的意味を明確にし、これまで不明確であった不連続降伏現象の発現機構を明らかにしている。得られた成果は、フェライト鋼の工業的な熱処理条件の最適化に貢献することはもちろんのこと、鉄鋼材料の強度特性の理解に新たな知見を与えるものであり、材料工学の分野において寄与するところが大きい。よって、本論文は博士(工学)の学位論文に値すると認める。